

おんじゅく

8

昭和53年 8月

第179号

千葉県御宿町役場

海水浴を楽しむ人 それを絵にする人
夏の過ごし方もいろいろあります



八月六日大多喜町で郡民体育大会が開かれました。御宿町は六人制男子バレーボールと女子庭球が優勝しました。そ

郡民体育大会で優勝 男子バレー 女子庭球

のほかは男子剣道が準優勝、男子庭球と女子卓球が三位でした。九月三十日に県大会がありますので、皆さんで応援しましょう。



大島さんが寄贈した貝がら



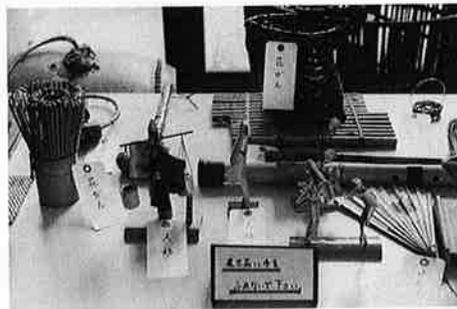
大島さんが 貝がらを寄贈

歴史民族資料館に展示されている貝がらをご存知で

すか。これは東京都豊島区の大島喜平次さん（七十二歳）が寄贈したものです。海に行く時に「貝がらをあげます。夏休みの宿題にご利用ください」という看板を見たことあるでしょう。大島さんはたくさん子どもたちに貝がらを配るのを楽しみにしているそうです。資料館には約三百種類もの貝が



優勝した男子バレーと女子庭球のメンバー



らがあります。なかには五億年も昔から生存するオキナエビス貝という貴重な貝も含まれています。昔はたくさん採れた、あのピン

ク色の桜貝どこにいつちやったんでしょうね。ご安心ください。まだあります。春、波の少し荒れた日に海に行ってみましょう。

好評だった 竹の民具展 歴史民族資料館

歴史民族資料館では、夏にちなんで竹だけを材料とした民具展を八月一日から十日までの十日間開催しました。

見ていてとても涼しいと、たいへん好評のようでした。涼しそう、と好評だった竹の民具展

見ようテレビ防 災キャンペーン

テレビ防災キャンペーンが、全国的に行われています。関東地区では、日本テレビとフジテレビで放送しています。

放送日程および内容は次のとおりです。暮しのなかの防災を考えるのには良い機会です。

◇9月1日「安全のお守り、防災

訓練

- ◇3日「身につけよう応急救護（宮城県沖地震から）」
- ◇8日「あなたも参加の自主防災（参加しよう防災訓練）」
- ◇10日「わが町を守る（参加しよう防災訓練）」
- ◇15日「デマは地震よりこわい」
- ◇17日「活躍する消防団」
- ◇22日「防災の拠点、消防署」
- ◇24日「災害に備える消防職員」
- ◇29日「みんなで進めよう震災対策」

楽しかった磯あそび

招待した布施小の児童からお礼状

六月五日、布施小学校の生徒百七十二名を磯あそびに招待しました。これは岩井町長の考えで、磯あそびの楽しさを味わせたいと計画したものです。子どもたちからのお礼状を紹介しましょう。

一ねん

すずきゆうこ

わたしは、うみがだいすきです。はやくいきたいなあーとおもっていました。

きょうは、がつこうのみんなといそあそびにゆきました。

おともだちはよろこんでうみのなかえとんどんはいつてゆきました。わたしは、すなのところで、かいがらをひろいました。

しろくてひかっているのや、もいろいろごをひろいました。もよりのついたかいがらもひろいました。おみやげがいっぱいに

なりました。うみのなかにはいりました。つめたくていきもちでした。おみずがきれいなのでこんぶのはえているのがみえました。いわのあなのなかから、かわい

いかにがでできました。こわいのでふくろのなかえ、ぼうでいれました。あなのなかを、つつくと、かにがでできます。おもしろくてかにばかりつかまえました。

かにはいもうとにあげようとおもいました。もつとたくさんとりたいとおもったけど、ふえがなかったので、やめました。とつても、たのしかったです。ちようちようさん、どうもありがとう。またゆきたいです。

三年 吉野 聖子

町長さん、月曜日は、いそあそびへおまねきいただきまして、とてもうれしかったです。



大喜びで磯遊びする子どもたち

私たちは、歩いて行きました。いそあそびの目的地についてびつくりしました。こんな所にいそがあるなんてノと思いました。それから、しお風にふかれて、海の中へ入って行きました。

私ははじめ何もとれませんでした。友達のパニールぶくろはカニやヤドカリでいっぱいでした。けれどもそのうち私のパニールぶくろも青のりやひじきでいっぱいになりました。それにカニも友だちからもらいました。家に帰ってから、おじいさんやおばあさんに見せました。それから、どういうりょうりのしかたがあるのか教えてもらいました。青のりは、よくあらって、にで食べてもいいし、よくかわかしてから食べてもいいのです。ひじきは、にでも食べられるそうです。私が青のりやひじきをおみやげ

にもつてきて、よろこんでくれるなんてノ町長さん、ほんとにありがとうございました。

五年 高橋 明子

町長さんこんにちは。先日、全校生徒を、しおひがりにごしょうたい、ありがとうございます。みんな五日の来るのを首を長くしてまっています。でも町長さんが来てく、ださなかつたので、ちよつぱり残念でした。

みんな、貝をひろったり、ひじきをとったりワカメのような海藻をとったり、のりをとったり、カニをとったり、とつても楽しい一日でした。わたしたち五年生は、去年牛ごめ海岸へ行ったことがあります。あそこには、ひじきも、のりも、カニも、ワカメのような海藻もなかつたけれど、御宿の海岸にはありました。カニをとるのに、むちゆうになつて、すべつてびしよびしよになつた人もいました。それからすな場でお昼ごはんを食べました。波を見ながら食べたおにぎりは、なによりもおいしく感じました。みんなは波をとんだり、はねたりしてなかなか海からあがろうと

人…人…人… で埋まつた 御宿海岸



△美しい海岸線は人…人…人で埋まりました
▽きれいな砂浜で楽しいひとときを過す若者



灼熱の夏がやってきた。
昨年の八月の長雨の不安など感
じさせない日照続きだ。
海辺に並ぶパラソルの数が例年
より多いように思えるのも暑さの
せいでしょうか。

車族もやってきた。
道路には国際色ゆたかな車・車
の行列だ。
車のラッシュも年々ひどくなっ
てきているようだ。
青少年相談員の夜警も例年のよ

うに行われています。
硝煙の匂いでいっぱい夜の砂
浜、九時を過ぎても人たちの数は
減らない。岩和田案内所につく頃
は、相談員も汗まみれだ。
でもやはり夏はこの暑さがいい。



◁家族サーブスをするお父さん



▷ゴムボートで楽しむ若者たち



◁夜まで巡視する青少年相談員



▷プール開きで水の安全を祈願

△砂浜は美しい花が咲いたよう

昨年は13.5トンも 順調なアワビの養殖

御宿漁業協同組合



大きく育った稚貝といけすのそうじ

六月二十五日アワビの稚貝放流を行いました。平島には昨年の九月から中間育成のために放流してあった貝が約二万八千個、この日はいけすを清掃して、外に放す日なのです。

海女組合四十七名みんな岩についている貝をはがしたり、いけすのドコを外にくみだしたりで、大忙がし、でもみんなの心はずみまます。露崎英三組合長は次のように話しています。

御宿の磯根では十年前は十五トンものアワビがとれた。それが年々とれなくなつて五トンにまで減つてしまつたため始めたのがこの稚貝放流事業です。やつと念願がかなつて昨年は十三・五トンとあわびも増えつつあります。磯根を大切にしようという気持ちのあらわれです。

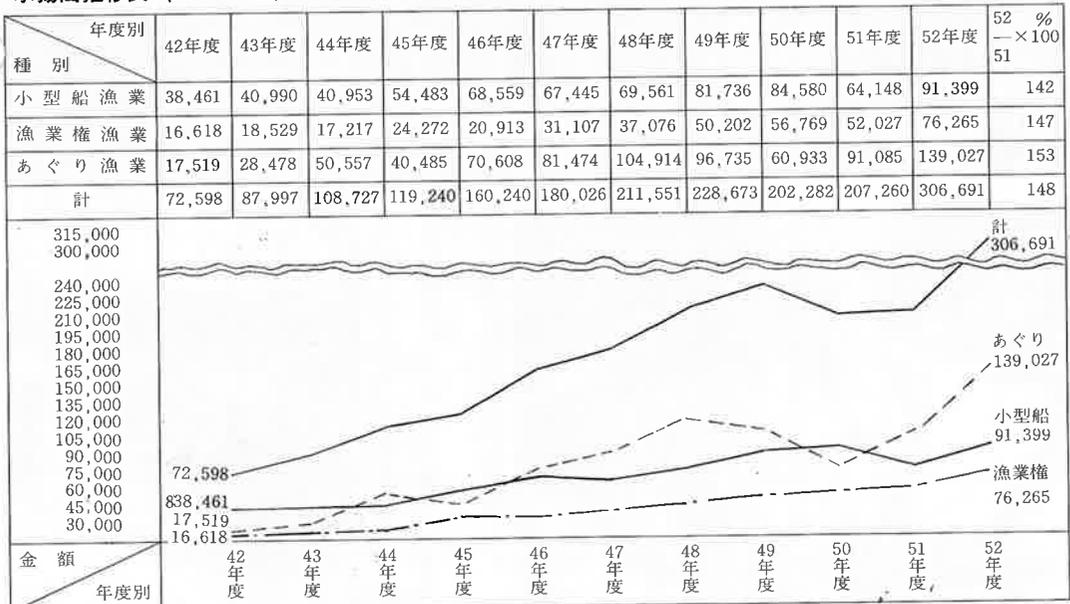
十二センチ以下のアワビはとれません。もしとつた場合は、一個につき三日間の営業停止という罰則があります。その他のいろいろの規則もありますが、みんなよく守つてくれています。

とる漁業から育てる漁業への移行がこれからの課題です。漁

業全般としても今年は順調で平均一〇％延びているようです。

水揚高推移表 (自昭和42年度 至昭和52年度)

単位 千円



楽しい勉強や社会奉仕

老人クラブに入りませんか

老人クラブに加入しませんか。老人クラブは地域社会で、老人自身がその福祉を高め、家庭福祉、社会福祉を進めることを目的としています。

常に地域社会の実情に応じ、ま

た地域の人々や関係諸団体などと

密接な交流を保ちながら活動を続

けています。

自主的活動を基本とし老人の生

きがいを見い出す場として、また

クラブ活動を通じ、なんらかの連

帯、友愛の方法を考え運営が進められていきます。活動は四つの目標に分けられます。

六十歳以上の方ならどなたでも入会できます。

パーソントリップ調査に協力を

から都市交通の実態をつかみ、歩行者、自転車専用道路、自転車置場、道路、鉄道など交通施設の総合的な計画に役立てるものです。調査の方法は、県下四百五十万人のなかから無作為で約十万人の方を選び、調査員が直接家庭を訪問して、みなさんの一日の動きについておたづねいたします。みなさんのご協力をお願いします。

建設省と東京都圏の各都県が、

十月から二か月にわたり、人の動きを中心としたパーソントリップ調査を実施します。

老人にふさわしい無理のない計画をたて、すべての会員が充実感、満足感が得られるようになっていきます。

この調査の目的は「人の動き」

です。



愛の献血ありがとう

あなたの血液が尊い人命を救います。6月15日に今年1回目の春の集団献血が旧公民館で行われました。

この会場に14回以上も献血された方、また夫婦で来てくれた方もいます。献血手帳は終身有効ですので大切に保管いたしましょう。(カッコ内は血液型)

〔須賀〕

三矢 義雄(O)
神定 正寿(A)
三矢 信義(O)
鶴岡 富子(A)
石井 照子(A B)
伊藤 竹子(A)
古山八重子(B)
神定みち枝(A)
中里 導枝(A)

〔浜〕

鶴岡 一成(A)
君塚 義洋(B)
君塚 総子(O)
狩野満里子(B)
松井 清美(O)
入江いち子(B)

〔高山田〕

嶋田 敏通(A)
滝口 和廣(B)
辻本 一己(A)

〔久保〕

渡辺 明久(O)
江沢 弘(A B)
岩瀬 はま(A)

渡辺 節子(A)
渡辺 又子(O)
江沢 靖子(A)
山信田八重子(A B)
〔新町〕
中村 勝治(O)
吉野 長康(O)
鈴木 健二(O)
村田 栄一(A)
尾後貫克己(B)
植村 政信(O)
池田日出男(A)
吉田 勇(A)
池田小夜子(O)
村田 礼子(A)
江沢 幸江(B)
鈴木 隆子(O)
鈴木 茂子(B)
三上 悦子(A B)
神定 たま(O)
原 政江(O)
中島マサ子(O)
〔六軒町〕
高梨由利子(B)
米良 勝子(A)

青木 澄子(A)
〔岩和田〕
高山 義博(B)
椎木 吉弘(O)
市東 勝美(A B)
佐久間桂子(O)
江沢 康代(O)
西郷 幸子(B)
野村 幸枝(B)
岩野さつ子(A)
天津れい子(A B)
野村はる江(A B)
植田 和枝(B)
〔七本〕
吉田 和啓(O)
吉田 正子(O)
吉田 洋子(O)
〔上布施〕
吉野 勇(B)
石井 高晴(B)
〔勝浦市〕
恋塚 静枝(O)
亀田 三枝(O)
〔大原町〕
吉田みち子(O)

夏の健康

忙がしい夏のピークも過ぎホッと一息ついたころでしょう。でもこんな時こそ、健康には気をつけましょう。

食事はきちんとして

とくに冷え症の人は生活のリズムを立て直して、三度の食事をきちんと時間どおりにとるように心がけなければなりません。

食事はゆっくり時間をかけ、分的にもゆつたり落ちついて食べる習慣をつくりましょう。

冷え症のほとんどの人が美食と

いわれています。摂取カロリーの考え、高タンパク質をとるよう心がけましょう。

一日必要とされるカロリーは体重一キロあたり二十五〜三十五カロリーのぐらゐとされています。

糖質の量は一日二百グラムをメ

ドに考え、調味料としての糖分は一日十グラムが適当です。

またおいしいからといって肉や魚ばかりを食べていると、からだが酸性に傾き、病気がちになります。アルカリ性食品、酸性食品をバランスよくとるように心がけましょう。

交通遺児等貸付金ののご案内

交通遺児等貸付金制度は、自動車事故で保護者が死亡、または重度後遺障害者となった児童がすこやかに成育されるため必要な資金を貸付ける制度です。

(イ)貸付対象者 貸付けは児童本人に対して行いますが、未成年者ですの、貸付けの申込みの続きは、原則として現在扶養している保護者にしていただき、その方に連帯保証人になっていただきます。

(ロ)貸付金額 Ⅱはじめに一時金十万円

円、貸付期間中、毎月九千円、小中学校入学時に入学支度金二万七千円。

(イ)貸付期間 Ⅱ貸付けがきまった月から中学校卒業の月までです。

(ニ)利率 Ⅱ無利率。

(ホ)返還の期限 Ⅱ中学校卒業から六か月または一年据え置いた後二年内以内です。

(ハ)返還方法 Ⅱ割賦(年賦、半年賦または月賦のうちから選択)による均等払で返還していただきます。中学卒業後、高等学校、大学等に進学した時は、それを卒業するまでの期間、返還が猶予されます。

くわしいことは自動車事故センター(電話〇四七二・二四・五七二)か役場総務課へ。

上布施石井あずみ 女 雄治
井上亜由美 女 光司

七月 男1 女7 計8
区名 出生 児性別 保護者
須賀 神定 伸江 女 善男
久保 松本 恵美 女 憲一

江澤 里絵 女 重寛
石井 幸子 女 春夫
岩瀬 文子 女 能和
新町 吉橋 和俊 男 俊夫

岩和田木原美知子 女 秀夫
上布施西川 恵子 女 俊夫

六月 男0 女3 計3
区名 死亡 者年齢 死亡日
須賀 鶴岡 八重 61 6月11日
神定 きん 71 6月12日



七月 男2 女1 計3
区名 死亡 者年齢 死亡日
浜 高貴 尊治 75 7月28日
六軒町山田 美次 44 7月25日
上布施吉田 きよ 66 7月17日

公民館室 俳句教室



□: 雑 詠..... □

今井 アキ

蛇莓草ふかければ手も触れず

河崎 康代
葉桜や往復バスは唯ひとり
吉岡みのる
ふき摘んで染まりし指を洗いけり

石井 江津

黄金色梅雨の晴間の美女柳

市原 さき

海びらき祝ぐ浦舟の勢揃ひ

小島 章子

声かけてくれる人あり端居かな

星野 優子

水鳥の小声で鳴けり声の中

伊藤 三登
昼顔や見るひともなく涙さびし
曾根 黙歩
旅に立つ家みな起きて明易し

河崎千鶴子

浜昼顔海風俗びて咲き乱れ

佐藤 笑人

好まざる客の来ている薄暮かな

岩瀬 京子

足許をつばめすぎゆく地を擦りて

石田ゆき緒

重たげに飛んで路地へと梅雨の蝶

発行・千葉御宿町

発行責任者・岩井 敏夫

人口

(7月末現在) 前月比
男 3,915 6
女 4,458 8
男女計 8,373 14
世帯数 2,330

編集者・氏原 憲二